

# 前立腺全摘出術を受けられる

# 様へ (入院診療計画書)

NO. 1

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。

入院当日は、午前9時30分までに受け付け①で入院受付をされ、5階デイルームでお待ちください。

入院の際は、この用紙を持参してください。

主治医 \_\_\_\_\_

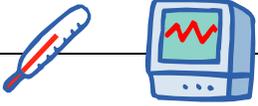
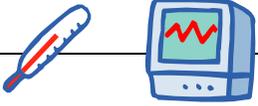
患者氏名 \_\_\_\_\_ 様

受け持ち看護師 \_\_\_\_\_

御家族氏名 \_\_\_\_\_ 様

(続柄 \_\_\_\_\_)

経過	外来	入院日	手術前日	手術日
月/日	/	/	/	/
達成目標	手術や麻酔について、心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えることができること。 疾患や手術・麻酔についてご本人も家族も理解できること。		体調を整え手術にのぞめること。	
治療 処置		お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参してください。その際、お薬手帳があれば一緒にお持ち下さい。 	手術する部位の毛をそります。 午後9時に下剤を内服していただきます。 眠れない方は遠慮なく申し出て下さい。	午前6時に便の出る坐薬を入れます。 お薬を飲むように説明を受けた方は午前6時30分にお飲みください。 午前8時頃に手術用の衣類に着替えてお待ちください。 午前9時頃より点滴を開始します。 車椅子または移動用のベッドで手術に行きます。
検査	胸部X線写真や呼吸機能・心電図・CT・などの検査があります。 血液検査をします。 尿検査をします。 			
食事	  	普通食です。	昼食以降は食べられません。 水分(水、白湯、番茶、イオン飲料)は当日朝まで摂れます。  	食事は食べられません。午前6時30分までは、お茶、お水は飲んでもかまいません。 うがい・歯磨きはできます。
排泄			 	手術前にトイレを済ませておいてください。
安静度		院内でお過ごしください。		病棟内でお過ごしください。 
清潔		入浴することができます。 必要な方には看護師がお手伝いします。 	除毛が済んでから、入浴することができます。 必要な方には看護師がお手伝いします。 爪の長い方は爪を切ってください。	手術前に歯磨きをしてください。 手術前に義歯、貴金属類は取り外してください。
説明	医師から入院、手術、治療についての説明があります。(別紙参照) 看護師から入院の準備について説明があります。 手術までに準備していただくものについては別紙を参照してください。 麻酔科に受診し、麻酔の説明を受けます。	担当看護師がお話を伺います。 看護師から入院中のこと、手術前・後の経過、処置、手術後の食事について説明があります。 入院や手術について心配なことがありましたら、担当看護師にお話してください。 主治医から、本人・ご家族へ入院・手術・治療に関する説明があります。	 	貴重品はご家族にあずけてください。

経過 月/日	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2~3日	術後4~6日	術後7日~退院
達成目標	術後の痛みや不快を伝えられること。	看護師の付き添いのもとで歩行ができること。 水分を摂っても異常が起こらないこと。	ドレーン(お腹に溜った血液などを外に出す管)をぬくことができること。		創部の異常がないこと。 尿の管を抜いても排尿があること。
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滴・酸素マスクをします。</li> <li>鼻から管が、背中に痛み止めの管が入ってきます。</li> <li>ドレーン(お腹にたまった血液などを外に出す管)が入ってきます。</li> <li>痛いときは痛み止めをしますので遠慮なくおっしゃってください。</li> <li>熱があるときは解熱薬を使うことがあります。</li> <li>心電図モニターなどが付きます</li> <li>看護師が頻回に伺い、血圧、体温、観察をします。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>状態をみて、酸素マスク、心電図モニターを外します。</li> <li>鼻の管が抜ける予定です。</li> <li>回診時傷口の観察を行います。</li> <li>歩行ができた方は、弾性ストッキングをぬぐことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回診時、傷口の観察を行います。</li> <li>ドレーン(お腹にたまった血液などを外に出す管)を抜きます。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>回診時、傷口の観察を行います。</li> <li>背中中の痛み止めの管を抜きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抜糸をします。</li> </ul> 
検査		血液検査をします。 腹と胸のX線があります。 			
食事	食べたり飲んだりできません。 	医師の指示により水分が許可されます。 	お腹の痛み、吐き気がなければ、朝から食事が始まります。(3分粥→5分粥→7分粥→全粥→普通食) 		
排泄	手術後はフォーレ(尿を出す管)が入ってきます。便が出そうなときは看護師の介助でベッド上で便器を使用します。術後1日目以降は可能であればトイレにて排便ができます。				フォーレ(尿を出す管)を抜きます。
安静度	ベッド上で安静にお過ごしください。体の向きを変えることができます。 	看護師の付き添いのもと、状態をみて立ち上がることから病棟内歩行までできます。 	病院内でお過ごしください。		
清潔	麻酔が覚めたらうがいができます。看護師が洗面をお手伝いします。	体を拭くことができます。看護師が体を拭くお手伝いをいたします。 	シャワー浴ができます。 		
説明	主治医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります。		尿もれが軽減する体操についてパンフレットに沿って看護師が説明をします。		退院後の生活について説明があります(別紙を参照)看護師が次回の外来受診について説明します。退院時間は午前10時の予定です。おおよその入院費は次の通りです。3割：約27~30万円、1割：約8~10万円(高額医療の対象になります。)費用は目安です。処置やお薬により前後します。3番窓口でお支払い下さい。